

**第1回佐賀県西部広域環境組合
ごみ処理施設建設委員会会議録**



平成21年 5月19日 14:00～16:00

佐賀県西部広域環境組合

第1回佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設委員会			
日 時	平成21年 5月19日(火) 14:00~16:00		
場 所	武雄市役所 4階会議室		
委 員	区 分	氏 名	出 欠
	伊万里市 副市長	前田 和人	出
	武雄市 副市長	古賀 滋	出
	鹿島市 副市長	出村 素明	出
	嬉野市 副市長	古賀 一也	出
	有田町 副町長	江崎 幹夫	出
	大町町 副町長	西依 和則	出
	江北町 副町長	横町 晃義	出
	白石町 副町長	-	-
	太良町 副町長	永淵 孝幸	出

佐賀県西部広域環境組合	事務局長	井関 勝志
	事業係長	加々良 俊文
	事業係主査	古賀 正太
財団法人日本環境衛生センター西 日本支局	環境工学部部長	岩永 宏平
	環境工学部建設技術課課長代理	古保里 俊夫
八千代エンジニアリング株式会社	環境施設部技術第二課課長	松本 良二
	環境施設部技術第一課主幹	小林 栄己
	環境施設部技術第一課主任	清野 昭則

第1回佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設委員会

平成21年 5月19日(火)
午後2時00分 開会

【1】 開会

【2】 協議・報告事項

- (1) 委員長・副委員長の選出
- (2) ごみ処理施設建設委員会設置要綱について
- (3) 施設整備検討部会の設置について
- (4) 今後のスケジュールについて
- (5) 最近のごみ処理システムについて

【3】 その他

【4】 閉会

【1】 開会

○事務局長より開会

○施設整備基本計画策定業務委託コンサルタント業者である八千代エンジニアリングを紹介

○白石町副市長が不在のため担当課長が同席していることを報告

【2】 協議・報告事項

(1) 委員長・副委員長の選出

事務局案として委員長に伊万里市前田副市長、副委員長に武雄市古賀副市長を推薦提案した。

●委員長は伊万里市前田副市長、副委員長は武雄市古賀副市長と決定された。

○委員長の挨拶

(この後の議事進行は委員長)

(2) ごみ処理施設建設委員会設置要綱について

ごみ処理施設建設委員会設置要綱により説明。

●委員会の会議については、非公開とし、会議録については、名簿を含め公開を行うことを確認された。

(3) 施設整備検討部会の設置について

ごみ処理施設建設委員会設置要綱第8条の規定により設置する施設整備検討部会の設置要綱と施設整備基本計画の検討フローについて説明。また、事務局案として、施設整備検討部会の部会員（学識経験者）を推薦提案した。

(委員) 資料の施設整備基本計画検討フロー図の中で、施設整備検討部会で検討された内容をごみ処理施設建設委員会に報告される前に構成市町議会へ報告されるようになっているのは何故か。

(事務局) 事務局としては、施設整備検討部会で検討された結果をごみ処理施設建設委員会へ報告し、その結果に基づきごみ処理施設建設委員会で協議した結果を組合管理者へ報告。その後、組合管理者は構成市町長会を開催し、構成市町長会で合意された内容を組合議会に諮り了承していただくという手順で考えていたが、構成市町の議会の意見というものをどこかで確認しておく必要があると思い、このようなフロー図を考えた。

(委員) 施設整備検討部会は、われわれ、ごみ処理施設建設委員会の専門部会であり、施設整備検討部会で検討された内容は、まず、ごみ処理施設建設委員会へ報告されるべきであり、構成市町議会への報告は、適宜必要に応じて各構成市町が対応することとしておけばよいのではないか。

(賛同の意見あり)

(事務局) そのように対応することとし、フロー図については、修正を行う。

- 施設整備検討部会部会員(学識経験者)については、後記の名簿のとおり事務局案
で了承された。
- 情報公開の取扱については、ごみ処理施設建設委員会と同様に行うことを確認され
た。
- 構成市町議会への報告は、適宜必要に応じて各構成市町が対応することとし、施設
整備基本計画検討フロー図については、修正を行う。

(4) 今後のスケジュールについて

施設整備基本計画策定の今後のスケジュールについて説明。また、施設整備に関する基本的な考え方について説明。また、事務局に事前に委員から視察の要望があっている旨を報告。

(委員) 施設整備検討部会での検討方針の基本的な考え方として、処理システムについては、2～3方式に絞り込みを行うとあり、処理システムの絞り込みは環境影響評価方法書作成に必須な事項であるとのことであるが、複数の処理システムに絞り込みを行ったとして、環境影響評価方法書の作成が可能なのか。

(事務局) 複数の処理システムの中で環境負荷が大きいシステムを想定することで、作成は可能である。

- 事務局案のとおり、了承された。
- 6月末から7月にかけて視察の計画を立てることとされた。

(5) 最近のごみ処理システムについて

処理システムや処理方式等の情報の共有を行うため、日本環境衛生センターより説明。

(委員) 炭化処理の将来的な見通しはどうか。

(事務局) 処理に伴い生成された炭化物は、セメント工場や製鉄所の燃料等に利用されており、発電所での利用についても研究がなされている。

決定事項はなし。

【3】 その他

【4】 閉会

佐賀県西部広域環境組合施設整備検討部会部会会員名簿（17名）

区分	氏名	所属	備考
学 識 経 験 者	小野 隆弘	長崎大学環境科学部教授	
	平尾 実	株式会社福岡クリーンエネルギー調査役	
	荒巻 康博	九州電力株式会社 火力発電本部執行役員火力部長	
	伊藤 洋	北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科教授	
	中山 裕文	九州大学大学院 工学研究院環境都市部門准教授	
構 成 市 町 担 当 課 長	織田 清弘	伊万里市環境課課長	
	伊藤 芳弘	武雄市環境課課長	
	亀井 初男	鹿島市環境下水道課課長	
	池田 博幸	嬉野市環境下水道課課長	
	百武 孝	有田町住民環境課課長	
	千々岩 正博	大町町生活環境課課長	
	西村 英樹	江北町環境課課長	
	小森 九州男	白石町生活環境課課長	
	土井 秀文	太良町環境水道課課長	
域内既存施設担当職員等	力武 岩夫	伊万里市環境センター所長	
	福田 康成	有田町住民環境課主査	
	棚町 信也	杵藤クリーンセンター環境施設課 課長補佐兼環境施設係係長	

平成21年5月1日現在